

信州の生活科・総合的な学習の時間 実践誌

ふらさとの大地

令和4年1月

25

信濃教育会



空いっぱいのはっぱ

一年 いちのせ あんじゅ

はっぱをなげたら

ぶわっと

きらきら

きいろ

オレンジ

ちやいろ

きれいだな

空にまっ

とんでいく

気持ちいいよ

はっぱのシャワーみたい

もっといっぱいながたいな

察すること

マスクの下の笑顔を見ることができるようなのは、いつ頃になるのでしょうか…。

コロナ禍で、「机と机の距離を空ける」「密を避ける」「換気」「手洗い」「マスク」と環境が一変した学校生活。「行事短縮」「修学旅行先の変更に次ぐ変更」と、先の読めない心持ちは、先生方に大きくのしかかってきました。まわりの方に寄りかかって生きてきた私は、自身のあり方も問われる毎日です。

そんな中、幾度となく生活科・総合に学ぶ先生たちのキラキラした姿に出会いました。煌めいて見える先生たちは決まって「だったら、こうしたらどうかろう」と歩み出せる道を探り出すのです。思い起こせば、生活科が誕生する前から総合を学ぶ人たちの後ろ姿はどこか「光のあたりぐあい」が違っていた気がします。

初めて小学一年生の担任となり、初めて校内研で授業公開した時のことでした。子どもたちが何時間もかけて一生懸命描きあげた模造紙大の学校周辺の発見地図に、私は「これってこういうこと？」と言いながら「ズケズケ」とマジックで地図に上書きをしていきました。授業後の研究会では「子どもたちの大切な地図になぜ、あんなことをしたのか」と容赦のない意見が殺到しました。自分を守るために行った子どもを蔑ろにした授業…。「授業者（私）の言い訳」が底をついた時、五十名もの先生たちの前で、私は泣き崩れました。「子どもの声を聴いているの?」「その子はどんな背景をもつて今そこに居るの?」と短く問う言葉の背景には「子どもを大事にする意味」が包み込まれていました。

「解釈」や「理解」は、聴いている人の数だけ存在します。さらに「さもありなん」と受けとれる理由が付け加えられます。だからこそ、信州の先生方は「事実から『その子の行間を読む』こと」を大切にしてきたのだと思います。

何度も振り返り、反省し、問い続ける中で、そうしたことを躰に染みこませてきたのでしょうか。優しいまなざしの所以はここにある気がするのです。

そういえば、何かの曲のフレーズに「本当に大事なことは隠れて見えない」という詞があったような…。

今は、察することが難しい時代だと言われます。しかし、私は改めて、その『察すること』から動き出す暮らしを大切にしていきたいと考えています。

最後になりましたが、玉稿をお寄せいただいた皆様、特集・シリーズにご協力賜りました皆様、本実践誌が発刊できるまでに携わられたすべての皆様に心より御礼申し上げます。

テーマ 自らを問う ～支える教育観～

察すること

『ふるさとの大地』編集委員会委員長 田中和幸 …… 1

● 特集

主体的な学びの本質から

これからの生活科・総合的な学習のあり方を考える

北海道大学大学院教育学研究院教授 守屋 淳 … 4

● シリーズ ⑧ 生活科・総合的な学習と学力

～灰縄プロジェクトに取り組んだ担任と教え子が、当時を振り返る中でみえてくるもの～

酒井賢一先生の千曲市立更埴西中学校時代の実践 … 15

● 特集 2

垣根を越えて 病院と地域がつながりあうことへの挑戦

～人を見ることに挑戦し続けるある病院の取組～ … 18

● 実践事例 & コラム

一年中あさがおさんと一緒にいたね（1・2年）

飯田市立伊賀良小学校 村田結子 …… 20

コラム 行こうよ！ うら山（1年）

伊那市立美篤小学校 藤澤真弓 …… 30

ぼくたちのおいけ 湧き上がる願い（1・2年）

大町市立美麻小中学校 西澤沙織 …… 32

コラム みんなで食べて長生きできる！？ ～栃餅作りへの道～（4年）

塩尻市立宗賀小学校 青木真代 …… 42

しろちゃんに会いに行こう大作戦～私が子どもたちから教えてもらったこと～（1・2年）

山ノ内町立東小学校 宮尾 匠 …… 44

コラム 泉台小の宝 ～青い目の人形～（5年）

飯山市立泉台小学校 荒井愛香 …… 54

一から小麦プロジェクト ～おれたちが初めてじゃない？～（5・6年）

長野市立松代小学校 寺島純一 …… 56

コラム “すな” がいたから、笑顔いっぱいの2年2組になれた（2年）

小諸市立坂の上小学校 長田明日佳 …… 66

◆ 実践ライブラリー …… 68

◆ ブロック会だより …… 70

子どもの風景

いちのせ あんじゅ（飯田市立座光寺小学校1年）／

佐藤根 桜来（松本市立明善小学校6年）／長倉 沙和（長野市立東条小学校3年）／

おがさわら ひろと（千曲市立埴生小学校2年）

表紙題字：市澤静山（信州大学名誉教授）

表紙写真：松本市立今井小学校

裏表紙写真：長野市立豊栄小学校

推し量る

友だちのアサガオの芽が出て数日たってもまささんの芽だけは出る気配がなかった。それまでも一生懸命水くれを行っていたが、それからはますます水くれにも精が出た。水くれとともに鉢に向かいていねいにお祈りをする姿も見られるようになった。友だちのアサガオの発芽から遅れること一週間半ほど、ようやくアサガオの芽が顔を出した。まささんは大よろこびし、その思いを私にまで伝えに来てくれた。それから約半年、まささんとアサガオとの生活が営まれた。登校するのモクラスの中でいちばん早く登校し、毎朝欠かさず水くれをしていた。そんなアサガオとの別れは10月下旬に訪れた。アサガオの弦をリースにするのだ。既にアサガオの弦は枯れ、種もすべて採ったあとだったが、その日の朝もまささんは水くれを欠かさなかった。発芽まで心配で心配でお祈りまで欠かさずしていたまささんのアサガオへの思いは、どうなってしまうのか、命への向き合い方は…。言葉をもたないアサガオへの思いとともに、言葉が少ない低学年の気持ちをどのように推し量ればいいのか。子どもにとって活動の意味とは何なのか、すべての活動で今一度立ち止まって考えてみたい。

『ふるさとの大地』編集委員会副委員長 下 育郎

実践ライブラリー

県内各地の先生方の実践を資料として収集し、その一部を掲載いたしました。
活用をご希望の方は、信濃教育会教科用図書研究部にお問い合わせください。
過去の実践については、信濃教育会ホームページをご覧ください。

信濃教育会教科用図書研究部 Tel 026-232-5201 Fax026-232-7132
信濃教育会 HP <https://shinkyo.or.jp>



■生活科

No	題材名	実践者・学年	概 要
1	アルパカさんといっしょ ～けんたくんスマイル ランドプロジェクト～	松 澤 伸 太 朗 (茅野市立金沢小学校) 2 年	アルパカの「けんたくん」と暮らしている子どもたちが、お散歩のコースを考えたり、小山や日陰やプールを作ったりして、「けんたくん」が楽しめるように、協力して活動する実践です。
2	マリーゴールドで 染め物をしよう	土 橋 沙 映 (辰野町立辰野東小学校) 2 年	自分たちが育ててきたマリーゴールドで染め物をして、自分だけのハンカチを作る活動に取り組んでいる子どもたちは、ビー玉や輪ゴム、洗濯ばさみなどを使って試行錯誤しながらハンカチの模様の変化を楽しんでいます。
3	つくろう！ 『しぜんの国』 マップ ～1 年生バージョン～	横 井 聡 (高森町立高森南小学校) 2 年	1 年生にも『しぜんの国』のよさを伝えたいと思った子どもたちが、マップを作る場面で、友だちの書き方や紹介の仕方を見たり、アドバイスをし合ったりすることを通して、1 年生に伝わりやすいマップになるように考えていきます。
4	ココがよろこぶ ココランドをつくろう	池 谷 祐 輔 (大桑村立大桑小学校) 1 年	ヤギの「ココ」と暮らしている子どもたちが、「ココ」が中庭で過ごせる小屋を作るために、グループに分かれて屋根作りや壁作りなどに取り組んでいる実践です。
5	やぎさんとくらそう 大きくせん	舟 田 麻 理 奈 (松本市立波田小学校) 2 年	やぎさんに楽しく遊んでほしいと願う子どもたちが、やぎさんの様子から気付いたことや、やぎさんの反応をヒントにして、工夫しながら安全に楽しめる遊び場を作っていきます。
6	みんなとなかよし ～おもちゃとなかよし～	荒 木 深 雪 (長野市立豊野東小学校) 1 年	設計図を基に試作品をつくって遊んだ子どもたちが、見本や工作の本を見たり、試し遊びを繰り返したりして、つくり方や遊び方・ルールを工夫しながらおもちゃづくりやおもちゃ遊びに没頭していきます。
7	うさぎさんと なかよくなろう	竹 内 明 日 香 (小諸市立水明小学校) 1 年	うさぎの「ちっぷ」のためにひろばのフェンスを作っている子どもたちが、初めて校庭でフェンスを広げてひろばを作り、「ちっぷ」にとって安全なひろばになっているか、課題をもって確かめていく実践です。
8	まるっ子 ちょうさい！ ～ピッカピカ まるこはいくえん～	服 部 あ か ね (上田市立丸子中央小学校) 2 年	保育園の年長さんと遊びたいと願った子どもたちが、園児も自分たちも楽しめるような遊びを考えたり遊び方を工夫したりする中で、相手のことを思いながら活動するよさに気付いていきます。
9	いつものぼしよ ～わたしたちのあそびば～	中 島 雅 也 (松本市立今井小学校) 1 年	いつもの場所でその日の自然に目を向け、自分なりに面白いと感じる「もの」「こと」を見つけたり、かわったりすることを通して、時には一人で、時には仲間と一緒に、自分のやりたいことを探したり、そこでの遊びを楽しんだりします。

■総合的な学習の時間

No	題材名	実践者・学年	概 要
1	つないでいこう 上の原の未来 ～プロジェクト Y みんなが楽しめる山へ～	北 澤 久 遠 (岡谷市立上の原小学校) 6 年	岡谷市の水源や豪雨災害学習を通して、自分たちの地域にある山について学んできた子どもたち。山を守るために活動している地域の方の思いにふれながら自分たちにできることを考えていきます。
2	田川で活動しよう	小 林 巨 樹 (松本市立田川小学校) 5 年	田川の生き物や自然と思う存分かわりながら遊ぶ子どもたちが、友と思いを共有し、課題解決していく中で、「ぼくたち、私たちの田川」に思いを高めていく実践です。
3	白馬のお宝、木流川 知ろう！ 感じよう！ やってみよう！	丸 山 仁 美 (白馬村立白馬北小学校) 3 年	木流川を守っている人々の活動や願いを知った子どもたちが、五感を使って木流川やその周辺の自然を感じ、ふるさと木流川のためにどんなことができるかを考えて活動していく実践です。
4	めざせ！ スーパー竹とんぼ名人	中 島 駿 (坂城町立坂城小学校) 3 年	校区内に生えている竹を使い、竹とんぼを作りたいと願った子どもたちが、名人に教わったり、友だちと話し合ったりすることを通して、よく飛ぶ竹とんぼについて追究していきます。
5	三本柳をもっと知り隊 ～わかってにっこり！ 三本柳のなぞを調べよう～	島 田 加 世 子 (長野市立三本柳小学校) 4 年	三本柳地区の町探検をしてきた子どもたち。自分たちで調べてきたことをまとめた地図、『知る知るマップ』を作ったり、作った地図と 30 年前の地図を見比べたりすることを通して、自分たちの地域へ興味を深めていきます。
6	生き物と触れ合い、 自然を愛する	北 沢 俊 樹 (須坂市立井上小学校) 4 年	学校の周りの池や川には、生き物がたくさんいるのに、どうして学校の観察池には生き物がいないのだろう？ 理想の観察池のイメージと、調査結果をかけ合わせながら、生き物が住みやすい池への挑戦が始まります。
7	小海町について くわしくなろう ～小海二十四景～	濱 彰 吾 (小海町立小海小学校) 3 年	小海町の自然についてもっと知りたいと願う子どもたちが、小海町の自然の景色やそれを作品にした人の思いにふれ、「自分にとっての小海町」を表現していく実践です。
8	アサギマダラを呼ぼう プロジェクト	池 内 周 己 (上田市立神科小学校) 5 年	「アサギマダラを呼ぼうプロジェクト」を中心に、玄蕃山で生きる動植物や、玄蕃山を通して創られていく文化や人々の営みにふれた子どもたちが、今後の自分の生き方を見つめ直していく実践です。
1	ふるさと発見隊 農林体験 学習の学びを発表し、これ からのふるさとを考えよう	水 野 真 澄、塩 川 瑞 喜 (阿智村立阿智中学校) 2 年	生徒たちは自らの課題をもって農林体験や調査発表活動をする中で、また新たな課題に出合っていきます。自分たちのふるさとに目を向け、課題追究学習における学びの連続性を大切にしたい実践です。
2	働く人の姿や 思いにせまろう	長 谷 川 美 穂 (塩尻市立丘中学校) 2 年	自分を見つめ直すことから、「働く」ことについて「問い」をもった子どもたちが、宿泊研修や職業体験を通して「働く」意味について考え、自らの視野を広げていく実践です。
3	さかえふるさと塾 ～栄村活性化プロジェクト～	實 原 泰 介、他全職員 (栄村立栄中学校) 全学級	地域活性化のための取り組みをしている人々の工夫や努力について調べてきた子どもたちが、自分たちにできることを考え、地域の人々の意見や評価を聞きながら栄村の活性化に向けて取り組んでいます。
4	ふるさと信州新町の魅力を 探り、多くの人に伝えよう	山本尚毅、笠原信行、 阿部裕一、柳澤恵理子、 渡辺寛教、力 はるみ、 曽根川はるみ、近藤幸子 (長野市立信州新町中学校) 全校	昨年度から教科探究の時間を設け、学年ごとに信州新町の歴史・食文化・災害・防災について調べてきた子どもたち。本年度は、全校で子どもの興味に基づく 5 つのグループに分かれてふるさと信州新町の魅力を、地域に出向いて体感したり、地域の方と触れ合いながら学んだりして、成果を発信していきます。
5	私たちの住む鉢盛中学校区 はここがすごい！ ～農業編～	早 川 和 宏 (組合立鉢盛中学校) 1 年	校区内における農業に関する調査を通して、その魅力は、人々の長年にわたる努力や地域の環境と深くかわっていることを知った子どもたちは、地域のために自分たちにできることを考えていきます。